

チアノーゼ型心疾患患者の 看護について



神奈川県立こども医療センター ハイケア・救急病棟 2
足田 南美

日々の観察と看護のポイント

観察

心不全症状の悪化がないか

看護

心負荷を最小限に抑える = 泣かせない、泣かせすぎないケア

心負荷??

主に…**啼泣・哺乳**



心不全症状の観察

多呼吸・努力呼吸

頻脈

しっとりした汗

末梢冷感

倦怠感・疲労感



尿量の減少・浮腫・体重増加

肺副雑音・肺エア入り不良

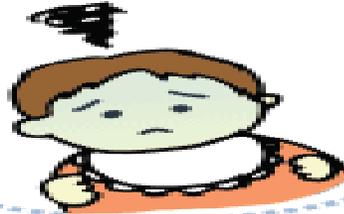
レントゲン上肺うっ血の所見

食欲低下・消化不良

乳児の場合

心不全の症状

顔色が悪い、青白い
なんとなく元気がない
まぶだのはれぼったい



① ミルクを飲むのに
時間がかかる

飲むとゼーゼーと
息をするようになる

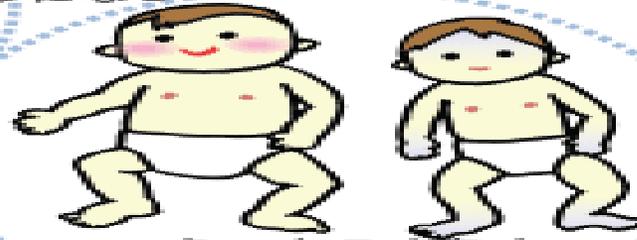


顔や手足がしっとり
汗をかいている
手足が冷たい



呼吸が早い
ゼーゼー音がしたり
呼吸に合わせて鼻がひく
ひくする

だっこをすると
少し楽そうになる



ふつようよりも
身体が小さい

どんなことが
起きるの？

何を観察し
たらいい
の？

心負荷を最小限にするケア

啼泣＝負荷！！

泣かせないためには…**不快因子の除去、欲求を満たす！**（おむつ交換や哺乳、抱っこ等）

しかし… 水分制限や医療デバイス、安静度によりできないことがある

抱っこ、空乳首・おしゃぶりやベビーラックの使用等で対応する



◎ 限界はあるのでだめなら**鎮静薬の検討も**

水分制限がある子への対応

水分制限  = つらい！本人も！家族も！

乳児：空腹が満たされない 幼児以降：口喝が強い

⇒ストレス ⚡ どうする？！



乳児の場合

- ・ **1回哺乳量や回数を調整**

医師指示

$60\text{ml}/\text{回} \times 8\text{回} = 480\text{ml}/\text{日}$

を450~480ml/日に変更できると...

$80\text{ml}/\text{回} \times 6\text{回}$ へ変更可！ **1回量を増やせる**

- ・ **乳首の穴が小さいものを使用**

例：Sサイズ→SSサイズ

- ・ **空乳首やおしゃぶりの使用、抱っこ、可能なら棟内散歩**



幼児・学童期以降の場合

- ・遊びやその他のことで気分転換を図る（水分以外のことに集中できるように）
- ・スポイトの使用（少量ずつ摂取してもらう）
- ・氷の使用
- ・うがい
- ・一緒に1日の水分の配分を考える ⇒ 一覧にする（見える化）
- ・塩分や辛い物を避ける

例

時間	量
6～7時	50ml
7～8時	100ml
8～9時	100ml



口喝をどう乗り切るか



内服の工夫

基本はスポイトで白湯に溶いて少量ずつ飲ませる



Q味を嫌がる時は…

単シロップと一緒に

内服薬の見直しを医師と相談

Q上手に飲めない時は…

乳首を使用してみる

幼児期以降の場合

- ・市販のくすりを飲むゼリー
- ・錠剤の検討
- ・アイスクリームと一緒に

家族指導

モニターがないからこわい！
変化に気づけるか？
どうなったら受診すればいいの？



見て・触れて・感じて

院内or棟内外泊の実施

受診の目安：医師に確認し家族と共有



退院後の生活をイメージ
不安の軽減



無酸素発作の予防と対処法



【無酸素発作(Spell)とは】

急激にチアノーゼが強くなり、呼吸が早くなったり、機嫌が悪くなる、突然ぐったりする

【発作が起こりやすい時】

・激しく泣いた時・排便等でいきんだ時・お風呂に入った後・発熱時・脱水になった時

【発作の予防】

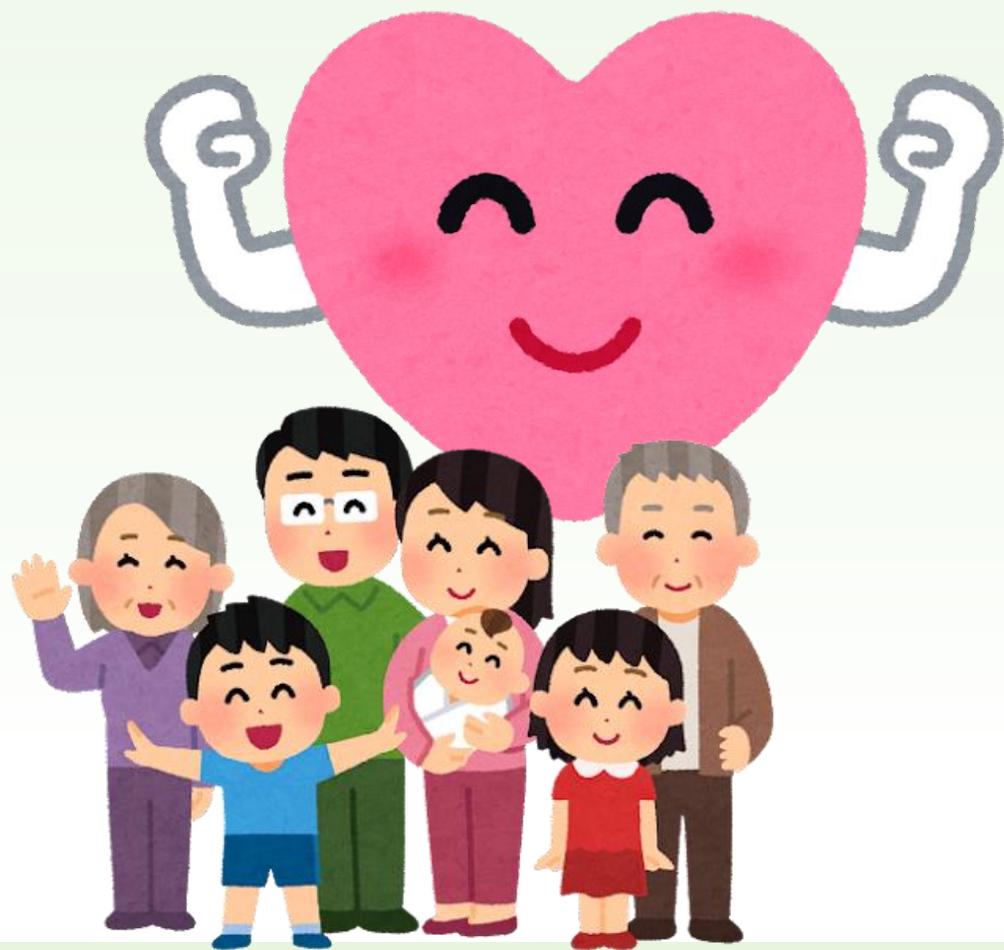
・大泣きさせない・便秘にならにようにする(浣腸等)・こまめに水分を取る

【発作の対処法】

・体を丸めるようにして抱っこする・泣き止ませる (・病院連絡の目安)



まとめ



病状の悪化がない



正しい理解、正しい観察

適切なタイミングでの受診が必要！

自宅で過ごせる時間を大切にしたい